



『五久会』だより 2006・1 第2号発行

会長挨拶

「五久会」会長 浅野益正



謹んで新年のご挨拶を申し上げます
昨年は「五久会」発足にあたりまして、ご協力を賜り誠にありがとうございました。

私たちは毎日、家族や友人に話しかけたり、話しかけられたりしながら生活しております。その毎日が川の流れるように月日となり、歳月を経て年を送り迎えます。例年の通りの繰り返しです。

そして、ふと振り返ってみれば過ぎ去った一年一年が蘇ったりするものです。一方、めまぐるしく変化してゆく時代の中で、日々刻々と全ての生活のリズムが変わり発展し進歩しています。

さて、平成十五年十月五日の町議選を経て市議員となった、我が五久会の推薦する内藤久歳君も、政治の世界に入り二年二ヶ月が過ぎました。その流れの中で確実に一歩一歩をふまえながら、日々の行事に力全の態勢であたって居ります。

五久会もこれにならって一生懸命応援しています。本年四月十六日に二年六ヶ月の流れに一つの区切りをつけ、改めて政治の道の第一歩を刻む大切な時期を迎えることになりました。

真の正念場を迎えるにあたり、これを取り越えて前進していきたいと存じます。言うまでもなく、今度の選挙は今後の候補の人生を大きく左右するものです。何が何でもやり抜くという信念が必要となります。皆様のご支援、ご協力の下に、全力で頑張っていく所存であります。栄光は努力なくして成り立ちません。重ねて皆様のご指導、ご鞭撻をお願い致し、年の初めに際してのご挨拶と致します。

終わりに皆様方のご多幸をお祈り申し上げます



新年のご挨拶

甲斐市議会議員 内藤 久歳



新年明けましておめでとうございます
皆様方におかれましては希望に満ちた輝かしい年を迎えられたことと御慶び申し上げます。

甲斐市が誕生し、昨年の九月で一周年を迎えました。市政運営も合併時、旧三町の持ち寄り予算から、平成十七年度は甲斐市になって初めての通年予算として一般会計二億八千四百六十二万八千円、特別会計を含め三七億九千七百五十六万六千円が計上され、『緑と活力あふれる生活快適都市』実現に向けてスタートしました。

また、市章も多数の一般公募の中から選定され、市民憲章も制定し、甲斐市の全体的なイメージが具現化されました。国においては、行財政改革の本丸と位置付けられた郵政民営化法案が可決され、三位一体の行政改革が進行中です。昨年末には三兆円の税源移譲と各省の国庫補助金の削減案が議論され、骨格が固まりましたが、地方に対する配慮は若干感じられるものの今後の自主自立に向けた市政を実行していくには厳しい状況にあります。

議会も今年四月末日を以って在任特例の任期が満了になります。敷島町議会から通算して二年六ヶ月の議員活動をさせて頂き、立候補時に公約として掲げた五つの項目を達成する為に努力して参りました。今年甲斐市条例で定められた議員定数（二八八名）で選挙が行われ、新しい甲斐市議会が誕生する年であり、私も甲斐市議会の一員として、甲斐市のまちづくりの基本方針に添った活動の中で、皆様の御理解と御協力を賜り、再度議会に送って頂き、市民生活の向上と甲斐市発展の為に頑張る所存でございます。

本年も皆様にとりまして幸多き年になります様お祈り申しあげ、力強いご支援を重ねてお願いし、新年のご挨拶とさせて頂きます。



《議会活動報告》

平成十五年十月七日、旧敷島町役場で当選証書を受領し議員としての第一歩を踏み出しました。その時の緊張感は今でもしっかりと脳裏に焼きついております。一年生議員という言葉をよく耳にしますが本当にその意味が理解できました。何もかもが一からのスタートだったからです。

初議会、議長選出、委員会構成等、議会運営の必要事項を決定しました。私は青少年の健全育成と教育関係に取り組みでみたいと思っておりましたので、総務常任委員会を希望し、幸い思い通りの委員会に所属できました。平成十六年の三月定例会では初めての一般質問に臨みました。質問内容は、児童生徒の不審者に対する安全対策でした。昨年十二月には広島と栃木で小学生が殺害されるという痛ましい事件が発生しました。今後、児童生徒の安全確保について保護者・学校・地域が連携を図り、事件の発生を絶滅してゆかなければならないと思っております。

平成十六年五月には行政視察研修として、村としては全国で最大の人口を有する岩手県の滝沢村で、議会の活性化について研修を行いました。
平成十六年九月一日、三町合併により甲斐市が誕生し、議会も甲斐市議会となり、議員は在任特例により甲斐市議会議員となりました。平成十七年度は計三回の一般質問を行いました。以下にその内容を記します。

- ☆平成十七年第一回定例会において、三項目について一般質問を行いました。
 - 一、市道開発一号线の整備計画について
 - 二、小学校の散水設備の設置について
 - 三、甲斐市スポーツ振興計画の策定状況について
- ☆平成十七年第二回定例会において、一項目について一般質問を行いました。
 - 一、児童虐待の対策について
- ☆平成十七年第四回定例会において、二項目について一般質問を行いました。
 - 一、小中学校校舎及び附属建物の耐震化の現状と対策について
 - 二、不登校児童、生徒の現状と対策について



以上市政について市民生活の向上及び社会的な問題点を取り上げ行政の取り組みについて質問いたしました。
今後も行財政改革を推進し「緑と活力あふれる生活快適都市」の実現に向かって頑張りたいと思っております。

「五久会」

五久会 副会長 保坂慶典

初めてのご挨拶をさせていただきます。2006年の新年を迎え皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。私、内藤ひさとし後援会「五久会」の副会長として活動しております保坂でございます。前回敷島町議選の際は皆様のご理解とご厚情により、内藤ひさとし君を最高の結果で初当選させて頂き御礼申し上げます。



さて、甲斐市が誕生して昨年9月で1周年を迎えました。現在内藤市議は、議会活動とみどり豊かな甲斐市を守る環境問題・健全な青少年の育成のための教育問題等に取り組んでおります。また、市道開発1号線の整備計画旧敷島地区の早期実現に力を入れております。今後、さらに内藤市議には活発なる議員活動を期待するところです。

来る4月は市議選になります。地域の皆様、甲斐市の市民の皆様の皆様のご支援のほど、今後共よろしくお願い申し上げます。

閑話休題!

明けましておめでとうございます!



ひさとしの
想い!

12月第4回定例会一般質問での1コマ

(議長) 通告13番、内藤ひさとし君の質問を許します。

(内藤市議) 議員番号5号、内藤ひさとし質問致します。その前に一言発言させていただきます。去る12月10日、88万県民の希望を背負ったVF甲府の対柏戦は財政規模5倍のチームへの挑戦であり、そしてその勝利は前身である甲府クラブで10年間プレイしてきた私にとっても感慨深いものがあります。この挑戦と勝利を甲斐市も活かすべく、議会も益々活気溢れる場となることを祈念いたします。では質問に入ります……

今年もよろしくお願いたします。

五久会一同



私の考え方

青少年のスポーツ活動26年の指導経験を生かし、未来をたくす青少年の健全育成を図る。
若者も希望と生きがいのもてる魅力あるまちづくりを目指す。
高齢者の住みやすい社会づくりを推進する。
緑豊かな甲斐市を守る環境問題へ取り組む。
竜王駅北口開発の早期完成と充実を図る。

経歴

- 昭和39年 3月 韮崎中学校卒業
- 昭和42年 3月 甲府工業高等学校卒業
- 昭和42年 4月 富士通(株)勤務 サッカー部在籍
- 昭和45年 10月 (有)三立製作所設立
- 平成3年 4月 (有)内藤精機設立 代表取締役

(プロフィール)

- 昭和45年～54年 甲府サッカークラブ(現VF甲府)在籍
- 昭和53・54年 同主将
- 敷島サッカースポーツ少年団監督
- 敷島サッカージュニアスポーツクラブ総監督
- 敷島南小学校PTA会長 山梨青年工業会副会長
- 山梨技術高度化研究会員
- 山梨県サッカー協会技術委員会委員長
- 山梨県サッカー協会常任理事
- 日本航空学園高等部講師
- 敷島サッカージュニアスポーツクラブ代表
- 甲斐市サッカー協会副会長



「年の初めに」

五久会 副幹事長 小池勝人

皆様、例年に比べ寒さの厳しい年明けとなりましたが、元気でお過ごしでしょうか。『五久会』発足以来、有志の皆さんや地域の多くの皆様と共に勉強会を重ね、私達の住む地域のかかえる諸問題また行政の流れを見ながら意見交換をしております。毎日淡々と生活している中で、私達の周りにはめまぐるしく時が流れていることを痛感いたしました。三町が合併し、私達の周りの環境も少しずつ変わってきてはいますが、まだまだ意とするところではありません。私も子を持つ親として、少しでも住みよい環境、家族がそろって楽しく明るく健康で、安心して暮らせるそんな社会を望むものであります。地域の皆様が一体となり、多くの力が集まれば、素晴らしい結果が得られるのではないのでしょうか。ほんの小さな疑問や意見を内藤ひさとしと共に考え、甲斐市政に反映出来るのではないのでしょうか……。『五久会』の果たす役割は地域と市政との中継点だと考えております。今年内藤ひさとし、そして『五久会』にとっても大切な年になろうとしています。自分の果たす役割を誠意をもち着実に前に推し進め、責任の重さをしっかりと受け止めている内藤ひさとしを皆様の力で支えて頂き、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



【編集後記】…五久会だより編集委員(平林弘光・平賀和久)

五久会だより第2号を『2006年新春挨拶号』としてお届け致します。毎月第1日曜日に開催している学習会も上記新春学習会で6回を数えるに至りました。この学習会では市議からの甲斐市政の報告後、これからの展望・要望・提案等についての話し合いを毎回真剣かつ楽しい雰囲気の中で行っています。次号ではそれらの内容についてもお知らせしていく予定です。尚、この便りの編集中に甲斐市選管より、平成18年4月9日告示4月16日投開票の日程が発表されました。身の引き締まる思いの中での編集作業となりましたが、ご一読頂けたなら幸いです。



発行責任者 浅野益正(五久会会長)

編集・発行 内藤ひさとし後援会事務所 甲斐市中下条217-9 (TEL) 055-277-8001

内藤市議ホームページ URL <http://park22.wakwak.com/~hisa-naito/>